

8. 終わりに

環境先進国ドイツではすでにメカニカルリサイクルによるPETボトルtoPETボトルが実施されている等、LCAおよびLCCに優れていると思われるシステムが成立している。

一方、日本においてはプラスチック原料にPVC・PVDCが含まれており技術的に難しい状況にはあるものの、消費者の分別マナーは世界一であると言っても過言ではなく、ドイツを上回る品質のリサイクルができるポテンシャルは十分にある。

なお、LCAの比較においてはオリジナルシステムの環境負荷が高いものほどリサイクル効果が高くなることに留意し、オリジナルシステムの環境負荷は今後減っていく方向にあることを考慮すべきである。(例えば熱利用は石炭から二酸化炭素排出のない原子力や自然エネルギーに代替できる。)プラスチックのみならず将来的な環境政策全体との整合性にも配慮が必要ではなかろうか。
